

大会名 第34回道新カップ小学生バレーボール大会道東大会
 競技成績 **男子の部 決勝リーグ**
 期 日 平成26年11月1日(土)・2日(日)
 会 場 道立北見体育センター 北見市立体育センター

大会委員長 池 政儀
 競技委員長 倉島 達
 審判委員長 小野 敏明
 総務委員長 平川 拓也

【1回戦】

1	女 満 別 J V C	—	芽室小リトルザウルス	4
		$2 \begin{pmatrix} 21 & - & 16 \\ 21 & - & 12 \end{pmatrix} 0$		
2	小 清 水 W I N S	—	帯 広 J J B	5
		$0 \begin{pmatrix} 5 & - & 21 \\ 6 & - & 21 \end{pmatrix} 2$		
3	遠 軽 ク ラ ブ J r .	—	稲 田 J V C プ リ ン ス	6
		$0 \begin{pmatrix} 3 & - & 21 \\ 1 & - & 21 \end{pmatrix} 2$		

【決勝リーグ】

	稲田JVCプリンス	女 満 別 J V C	帯 広 J J B	成 績	順 位
稲 田 J V C プ リ ン ス		$2 \begin{pmatrix} 21 & - & 16 \\ 21 & - & 18 \end{pmatrix} 0$	$2 \begin{pmatrix} 19 & - & 21 \\ 21 & - & 13 \\ 15 & - & 4 \end{pmatrix} 1$	2勝0敗	1位
女 満 別 J V C	$0 \begin{pmatrix} 16 & - & 21 \\ 18 & - & 21 \end{pmatrix} 2$		$2 \begin{pmatrix} 21 & - & 14 \\ 21 & - & 16 \end{pmatrix} 0$	1勝1敗	2位
帯 広 J J B	$1 \begin{pmatrix} 21 & - & 19 \\ 13 & - & 21 \\ 4 & - & 15 \end{pmatrix} 2$	$0 \begin{pmatrix} 14 & - & 21 \\ 16 & - & 21 \end{pmatrix} 2$		0勝2敗	3位

優 勝 稲田JVCプリンス
 準優勝 女満別ジュニアバレーボールクラブ
 第3位 帯広 ジュニア ジェット ボーイズ

決勝リーグ第1試合 稲田プリンス 対 女満別JVC

1セット目:序盤、一進一退の攻防が続き、終盤でサーブミスとスパイクミスが重なり、善戦したが稲田チームが勝利した。
 2セット目:1セット同様、終盤でミスが出て、女満別チームが健闘むなしく勝利をものにすることは出来なかった。

決勝リーグ第2試合 稲田プリンス 対 帯広JJB

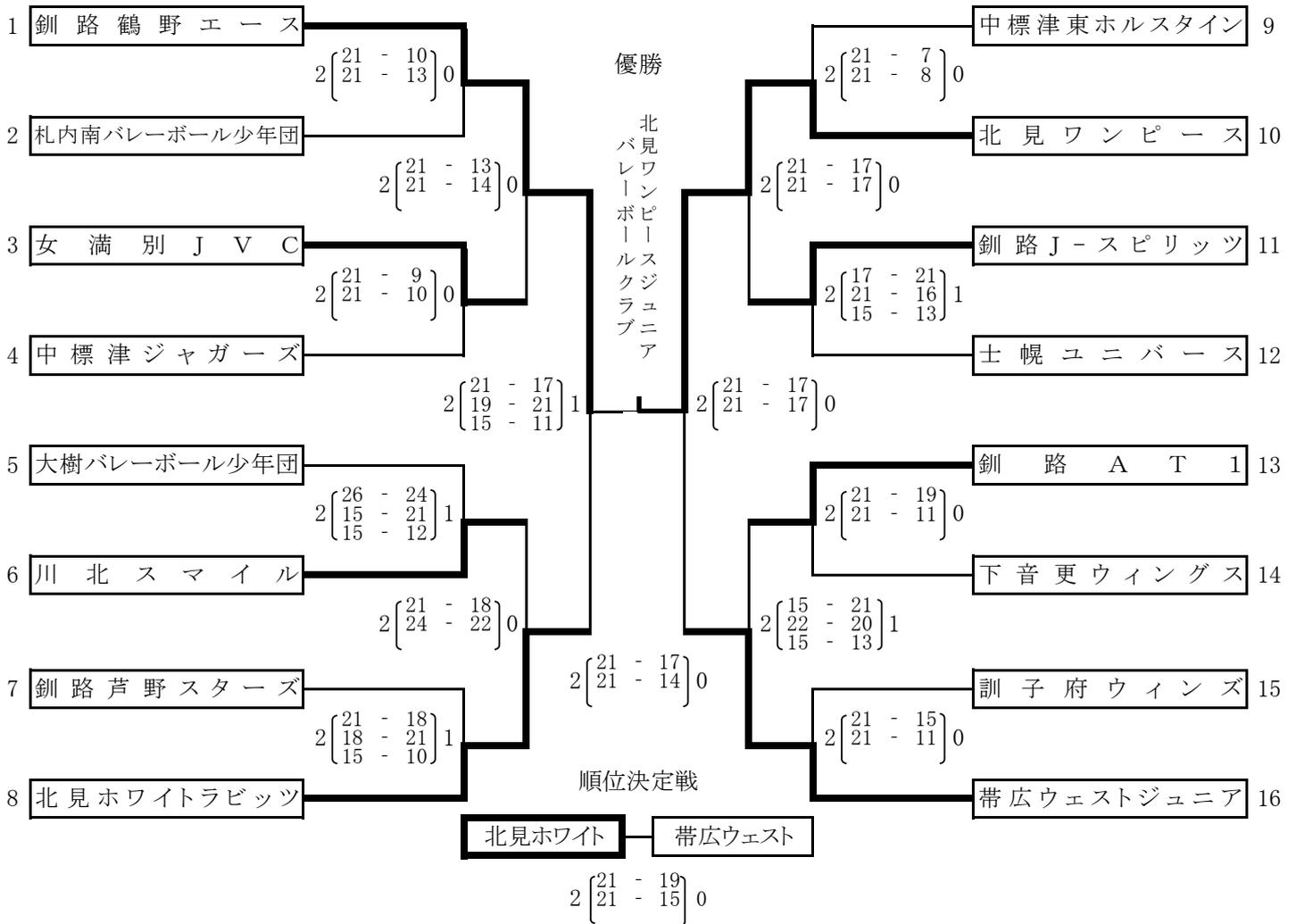
1セット目:序盤、帯広JJB高橋のサーブでリードする。中盤、稲田堀のライト攻撃、宇佐見のブロックなどで追い上げるが、宇佐見のブロックが高いと判断した高橋がコースを打ち分けるスパイクで逃げ切った。
 2セット目:中盤まで稲田奥山のセンターからの攻撃、帯広JJB高橋の打ち合いで、一進一退の展開。終盤、帯広JJBの緩急をつけたサーブで稲田レシーブを乱し、高橋のスパイクミスを誘い、セットを取った。
 3セット目:稲田奥山のサーブ、スパイクで加点。8対2稲田リードでコートチェンジ。終始、奥山の安定した攻撃力がひかる試合であった。

決勝リーグ第3試合 女満別JVC 対 帯広JJB

1セット目:女満別が2番羽生のセンターあらのスパイクで得点を重ね、帯広JJBも3番高橋のセンター攻撃で対抗するが女満別が先取する。
 2セット目:1セット目と同様に両チームが粘り強いレシーブから女満別は2番羽生、帯広JJBは3番高橋のセンター攻撃の応酬となったが、終始リードを保った女満別が勝利した。

大会名 第34回道新カップ小学生バレーボール大会道東大会
 競技成績 **女子の部 決勝トーナメント**
 期 日 平成26年11月1日(土)・2日(日)
 会 場 道立北見体育センター 北見市立体育センター

大会委員長 池 政儀
 競技委員長 倉島 達
 審判委員長 小野 敏明
 総務委員長 平川 拓也



優勝 北見ワンプィースジュニアバレーボールクラブ
 準優勝 釧路鶴野エース
 第3位 北見ホワイトラビッツバレーボール少年団
 第3位 帯広ウエストジュニア

決勝 北見ワンプィース 対 釧路鶴野

1セット目:序盤から北見1番松本、3番坂本、4番椎野による多彩な攻撃が決まっていた。一方、鶴野は3番田中のセンターから2番久保のレフトからの高さある攻撃が決まっていた。一進一退の展開で進んでいたが、テクニカルタイム明けの北見3番のサービスエースなどで点差を広げていき、21対17で北見ワンプィースが1セット目をものにした。
 2セット目:1セット目と同様に両チームエースの打ち合いで進んだが、コースをねらったり、威力あるサーブで鶴野に攻撃をさせなかった北見ワンプィースが21対14で2セット目もと、ファミリーマートカップ決勝での雪辱を果たし、優勝した。

準決勝 釧路鶴野 対 北見ホワイト

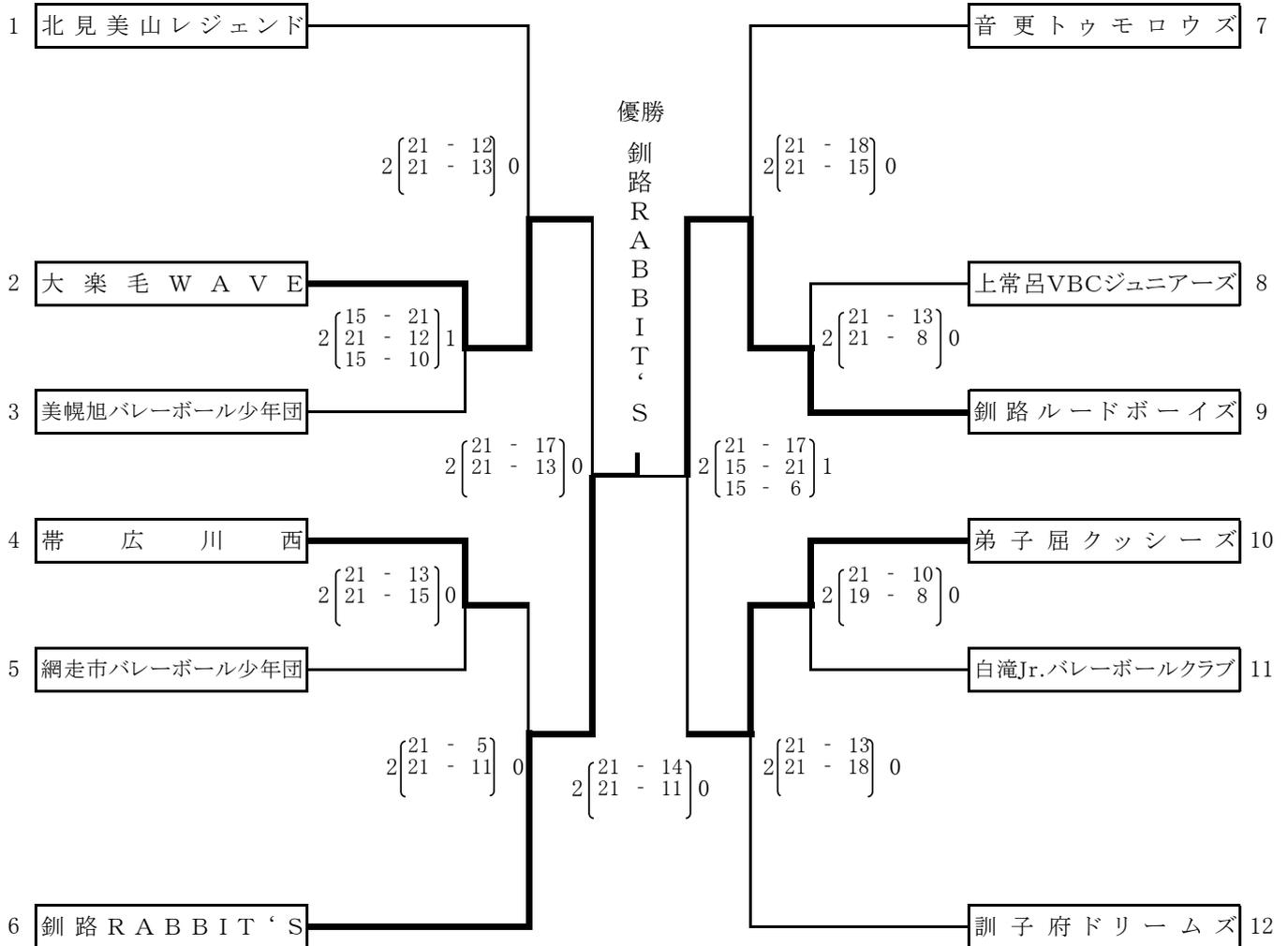
1セット目:序盤は、両エースによる打ち合いで一進一退で進んだ。終盤、鶴野4番大西のナイスサーブで相手の守りを崩し、鶴野3番田中、2番久保がしっかりとスパイクを決め、第1セットをものにした。
 2セット目:中盤、1番田中の高さのあるスパイクが決まり、18対14とリードした北見ホワイトがコースをねらったサーブで何とか相手チームの攻撃を崩そうとする鶴野の反撃をふりきり、第2セットをものにし、フルセットへもつれこんだ。
 3セット目:序盤から1セット目と同様、コースをついたサーブにより、相手の攻撃を許さなかった鶴野がじりじりと点差を広げ、15対11で決勝戦へと駒を進めた。

準決勝 北見ワンプィース 対 帯広ウエスト

1セット目:序盤、北見ワンプィースの多彩な攻撃に対して、高いブロックで応戦していた帯広ウエストだったが、北見3番坂本の高さとコースをしっかりと打ち分けるレフトからの攻撃が冴え、第1セットをとった。
 2セット目:帯広ウエスト4番寺山のライトからのパワフルなスパイク、北見3番坂本、1番松本のスパイクといった両チームエースによる打ち合いで、序盤から一進一退のゲーム展開だった。北見のピンチサーバー6番佐々木のサーブで、相手の守りを崩し、チャンスを返ってきたボールをしっかりと決め、一気に21対17で2セット目もと、決勝進出を決めた。

大会名 第34回道新カップ小学生バレーボール大会道東大会
 競技成績 **男女混合の部 決勝トーナメント**
 期 日 平成26年11月1日(土)・2日(日)
 会 場 道立北見体育センター 北見市立体育センター

大会委員長 池 政儀
 競技委員長 倉島 達
 審判委員長 小野 敏明
 総務委員長 平川 拓也



優 勝 釧路RABBIT`S
 準優勝 釧路ルードボーイズ
 第3位 弟子屈クッシーズ
 第3位 大楽毛WAVE

決勝 釧路ラビッツ 対 釧路ルード

1セット目: ルード2番宮下、ラビッツ1番大島、両エースの打ち合いを予想したが、序盤大島はオープン、クイックを決め流れに乗るが、ルード宮下は徹底マークと力みで調子が上がらず、8対11で交替。その後もラビッツの流れは変わらず先取する。
 2セット目: ラビッツの流れは変わらず、中盤ルードも追い上げるが、ラビッツ大島のスパイク、ルードのレシーブミスも多くラビッツが勝利を収める。ルードエースの調子が上がらなかったことが悔やまれる。

準決勝 釧路ラビッツ 対 大楽毛

1セット目: 出だしから一進一退の展開。ラビッツ1番大島と大楽毛1番竹内の打ち合いは終盤まで続き、お互い粘り強いレシーブで善戦したが、5番矢澤のサーブで相手を崩し、ラビッツが第1セットをものにした。
 2セット目: 序盤からラビッツサーブで相手を崩し、ハイセットからの攻撃をレシーブで上げ、流れを引き寄せ、1番大島の巧みな攻撃で相手を寄せ付ける事なく、ラビッツが勝利した。

準決勝 釧路ルード 対 弟子屈

1セット目: ルードの多様なサーブで弟子屈はエース1番へ攻撃につなげることができなかった。弟子屈はサーブミスが多く、最後までその点差を縮めることができなかった。
 2セット目: ルードは2番レフト、弟子屈は1番センター両エースの打ち合いとなり、終盤まで一進一退の攻防を展開したが、弟子屈2番のサーブで連続ポイントし、セットを奪取した。
 3セット目: ルードのエースがスパイク6ポイントと活躍。弟子屈は善戦したが、ルードが勝利した。